

に「加え」も「充実」した。どち
 別仕様車が
 見据えられ
 たら到来す
 味が見据え
 ンルから変
 ージが
 ばれる毛
 表皮が与
 装よりも
 しか
 ふう、シー
 彩られ
 観ではホ
 れ、専用
 ヌアゲハ
 さら、メ
 が組み合
 (ブラック
 ムルーフ
 プ)。
 装よりも
 シュアル
 タン内装
 再現した
 トでオト
 的だ。ホイ
 前仕上げの
 らメッキに
 ーとし
 シヤイ
 ルストリ
 カMルー
 が設定さ

取材・文／神領 貢 (本誌編集長)

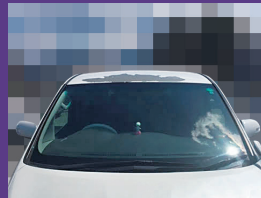
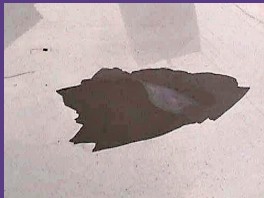
トヨタのホワイトパール車、塗装ハゲ続々!!

トヨタのホワイトパール車で発生している塗装ハゲ問題。これまでにハイエース、アルファード、ランクル200などの事例が読者から寄せられてきた。で、今回はヴェルファイアだ。写真のクルマは14年1月登録、走行距離6万4000km、色はホワイトパール(色コード070)である。この車両についても、トヨタはこれまで同様「お客様に満足いただけるように日々改善を進めております」(広報部)の回答に終始する。

個々の車両の保管状況が千差万別であるため、確かに車体の塗装ハゲはクレームに馴染みにくい部分もある。だが、編集部寄せられている情報だけでもトヨタの多くの車種

で同様の塗装ハゲが確認されている。トヨタは当該車両の一斉点検を行い、不具合のあるものについてはサービスキャンペーンなどを実施してメーカー負担で改修したほうが良いのではないだろうか。

ちなみに、登録後3年を過ぎた(保証が切れている)クルマについて「中部地方のトヨペット店は2~3万円の負担で対応している。メーカーから補助が出ているようだ」「甲信越地方のトヨペット店ではクレーム修理してくれた。補修代金はかからなかった。どうやらホワイトボディの下地処理に問題があるようだ」などの報告が複数の読者から寄せられている。引き続き読者のみなさんからの情報をお待ちしています。



今回報告があったヴェルファイア。これ以外にも多くの事例が寄せられている。

アルファードでも新たな塗装ハゲの報告があった。高圧洗車で「ペリペリ」と塗装が剥けてしまつ(投稿主 惨状だ。